

# 話し合いで出た、みんなの不安

## 肢体不自由者と家族（支援者）グループ

- ・ トイレ① 洋式でないとダメ
  - ② 回数が多い
  - ③ 異性介護だと、男女別トイレはどちらを利用すればよいか
- ・ 第一、第二指定避難所に洋式トイレがない
- ・ 災害時、避難所に行けない
- ・ 車いすでの移動ができない（大勢動けない）、段差が降りられない
- ・ 一般避難所で、角に場所を決めてほしい
- ・ 避難所にスプーン、ストローがほしい
- ・ 避難所にとろみを用意しておいてほしい
- ・ 避難所にウェットティッシュがないと困る
- ・ ベッドでないと寝られないので、ベッドを用意してほしい
- ・ 避難所に行かない人に食料を用意してほしい
- ・ 紙オムツを捨てる場所、替える場所がない
- ・ 福祉避難所には家族単位で受け入れてほしい
- ・ 障害者を避難所に事前登録するシステムをつくってほしい
- ・ 事前登録をした場合にわかるように、カードを用意できないか
- ・ 第一、第二指定避難所では、1～2日でも過ごせない
- ・ さくらピアの障害者トイレは男・女性用と分かれているが、介助ができない
- ・ 避難所にミキサー等の使用のための電源がほしい
- ・ 食事介護に対応できない

## 身体障害者と視覚障害者のグループ

- ・目の不自由な方に対し、防災のてびき他災害に備える情報の入手手段がない
- ・低肺の人は避難所で寝られない
- ・避難所（さくらピア体育館）でマイクを使うと反響して聞きにくい
- ・引越しをして間もないので（マンション住まい）、隣近所の付き合いがない
- ・避難所で視覚障害者のガイド及び専用ルームがあればよい

## 知的障害者と家族（支援者）のグループ

- ・トイレの確保が心配。個数が少ない。
- ・福祉避難所へ行ける人の振り分けがどうなるのか不安
- ・福祉避難所への移動方法が心配、行きたくても行けないかも...

障害者本人が小さい場合、兄弟も小さかったり、多動の子供は母親ひとりでは見られず  
父親や他の家族も必要とする場合もある。家族ぐるみで福祉避難所へ行きたい

- ・避難所で指示をする人の、障害者対応の研修はできているのか？
- ・責任者の名前がはっきりわかっていない
- ・避難所要員の人とのコミュニケーションが心配
- ・避難所になっている施設でも、液状化が心配。
- ・豊橋は静岡や名古屋に人や物資を取られてしまう怖れがあると聞いている。
- ・川や山でも寸断され、孤立すると言われているらしいので不安。
- ・障害の子供のことをどこまで分かってくれるのか
- ・町内の協力員の顔を知らない。
- ・地域の避難所に障害者用の部屋が欲しい。

何年前にそのように言ったら、災害時はみな被災者なのだから、それは聞けないと言われたことがある。

- ・障害のある自分の子が他の人に迷惑をかけるのが心配。
- ・避難所生活が3日ももつとは思えない。と言ってもすぐには家には帰れない。

## 聴覚障害者のグループ

- ・手話通訳者がいない時、情報があっても分からない
- ・電話ができない
- ・誰が聞こえない人か分からない
- ・地域ごとに、どこに聾者がいてどこに手話ができるボランティアがいるのか、把握できていない。
- ・障害者団体に加入していない人への周知はどうしたらいいか
- ・災害が起きたとき情報が入りにくい
- ・高齢の人で、一人で移動できない人は？
- ・周りは聞こえる人ばかりで孤立してしまう

<今年はどうすれば 不安材料が減るか 考えてみましょう>

- ①自分や家族でできること
- ②仲間や団体や近所でできること
- ③行政で取り組んでほしいこと